

福島の人々の怒り—反原発 1 万人集会

10・30

被災状況

死者 1 万 5829 人 (前日比同じ)

行方不明 3724 人 (同上)

避難者 (10・20 現在) 7 万 1358 人

●福島集会 1 万人—「なくせ！原発、安心して住み続けられる福島を！10・30 大集会インふくしま」(福島市「四季の里」)—J A 福島会長、浪江町長、飯舘村長、前県知事ら挨拶 (10・31H)

●福島原発事故 被害弁護団結成 (30 人)—安田純治氏 弁護団長に (10・31H)
→10・31 M「福島第 1 作業員、休憩所は管理区域圏外—高線量、危険手当なく」
『同じ仕事、異なる手当』—作業員同士、疑心暗鬼

→10・31 A 夕「政府、日銀円売り介入—3 ヶ月ぶり、最高値更新受け—円 急落、一時 79 円台」 「米産牛の輸入 緩和へ、厚労省—審査会、見直した承」
／Y 夕「円売り介入—『単純』に効果疑問視も、長期的な円高対策必要」
→11・1 A 「75 円防衛へ介入—財務省『納得いくまで』」

→10・31 M 夕「世界人口 70 億人に—国連人口推計」

→10・31 N (世論調査) 10・28~30 N とテレビ東京 共同実施

①野田内閣—支持率 58%、不支持 29%

②T P P への参加—賛成 45%、反対 32%

③大震災の復興増税—賛成 58%、反対 31%

→10・31 各紙社説・論説

A 「自然エネルギー—ドイツの普及策に学べ」／「沖縄の教科書—町に矛盾押しつけるな」／アメリカ総局長・立野純二「風、ワシントンから—キング牧師の夢、反格差運動にも受け継がれ」

M 「T P P 反対論—米国陰謀説は的外れ」

Y「郵政改革法案—速やかな審議入りが必要だ」／「中間貯蔵施設—除染の促進で生活再建を急げ」

N「電機メーカーは何を収益源にするのか」／『自転車は車道』とするのなら」／編集委員・滝田 洋一「核心—米欧がからむ日本の轍、『宴の後』の困難を知る」

T「世界人口 70 億—皆が食べ働ける社会に」／「サイバー攻撃—最大限の危機意識で」

H「イラクとリビア—政権転覆の戦争は許されない」

原発輸出と玄海再稼働—野田政権の二重基準・二枚舌

10・31

被災状況

死者 1 万 5829 人 (前日比同じ)

行方不明 3692 人 (前日比 32 人減)

避難者 (10・20 現在) 7 万 1358 人

●日、ベト首脳会談—原発建設協力の共同声明 (11・1A)

●玄海原発 4 号 再開へ—九電、近く運転再開すると発表 (11・1A)

⇒11・1 運転再開

●原木ナメコ、出荷停止指示—政府、福島県相馬市、いわき市で生産された原木、国の基準 (1 キロ当たり 500 ベクレル) 超えたとして (11・1A)

→11・1 M「避難所閉鎖 めど立たず、福島—仮設入所 拒む高齢者、『交通の便が悪い』『自宅に帰りたい』

／Y「福島避難所に 350 人—閉鎖延期、仮設入居進まず」

→10・31 Tタ「チェルノブイリ、『救援・中部』河田さんに聞く—健康被害、事故の 4～5 年後—がんより心臓病、糖尿病」

→11・1 A「福島の幼稚園 悲鳴—出願が大幅減、退園止まらず—除染費用 私立に負担—残る選択に不安も」

→11・1 T「九電、玄海4号 週内にも再稼働—保安院評価受け、地元理解を得ず」

●10・31 電力3社赤字—2011・9中間決算、東北・中部・九州の3社が赤字転落—原発停止響く (11・1A)

●震災倒産、累計420件 (東京リサーチ公表) —大震災関連の経営破綻 (10・31現在)、420件 (阪神・淡路大震災の関連倒産が発生から8カ月の累計105件) (11・4H)

10・31 パチンコ放火殺人事件で死刑判決、死刑違憲論の中で—大阪地裁 (和田 真 裁判長) (11・1A)

→11・1 A「被告に死刑、絞首刑は合憲—大阪地裁判決、パチンコ店放火殺人—憲法審理『素人には重荷』—裁判員、悩んだ60日間」

／N「絞首刑は合憲 被告に死刑、大阪地裁判決—パチンコ店放火殺人、責任能力認める」 「絞首刑の残虐性、裁判員の意見反映—個別事件で審理疑問も、国民的議論求める声」

10・31 飲酒運転 3児死亡事件上告審—最高裁第3小法廷 (寺田逸郎 裁判長)、危険運転死傷・道交法違反事件の上告 棄却決定—懲役20年の福岡高裁 09・5判決を支持、確定 (11・3A)

→11・3 Y「危険運転 懲役20年確定へ、福岡 3児死亡事故—最高裁初判断—飲酒は広く適用」

ユーロ圏の混迷・混乱—ギリシャ発

10・31 ギリシャ—パパンドレウ首相、「国民投票」方針発表—ユーロ首脳会談で決まった 対ギリシャ支援策の受入れの可否めぐって (11・1Y夕)

→11・1 N夕「欧州危機に再燃懸念、円78円台、なお円高圧力—ギリシャ、緊縮策 国民投票へ—米金融MFグローバル破綻—円売り 7～8兆円、31日最大介入」

→11・2 A 「独仏首脳、緊急会談へ—国民投票、ギリシャ側と協議—欧米株が急落」

→11・1 各紙社説、論説

A 「食品の放射能—安心を手だてを尽くせ」／「主婦の年金—また不公平にするのか」／編集委員・曾我 豪「記者有論—野田政権、繕いなのか 取り繕いのか」

M 「対越 原発輸出—安全確保が大前提だ」／「中間貯蔵施設—『3年後をメド』着実に」／東京科学環境部・八田浩輔「記者の目—地震学者たちの『3・11トラウマ』、思い込み排し『不確かさ』共有を」

Y 「代表質問—T P P 参加へ結論を出す時だ」／「日越首脳会談—安全な原発輸出で信頼向上を」

N 「政府・日銀は今後も円高対策を怠るな」／「自民党の責任も問われる」

T 「円売り介入—もっとマネーを増やせ」／「生物多様性—ナゴヤの約束忘れずに」

H 「八重山教科書問題—政府は支離滅裂な介入やめよ」

PKO5原則のなし崩し—南スーダンへの派兵決定

11・1 政府、南スーダン PKO決定—2012・1 陸自約 200 人（11・1 各紙夕刊）

→11・2 A 「PKO 政権にリスク、南スーダン派遣決定—治安 尽きぬ不安、期間も不透明」

11・1 被災状況

死者 1 万 5829 人（前日比同じ）

行方不明 3686 人（前日比 6 人減）

避難者（10・20 現在） 7 万 1358 人

●玄海原発 4 号機（118 万キロワット）、運転再開（11・2A）

→11・2 H 「玄海 4 号機再稼働—地元怒る『説明ない』、やらせ無反省のまま」

●**防災区域、半径 30 キロに拡大**—原子力安全委員会・作業部会、原発からおむね半径 30 キロ圏に拡大することに決定 (11・2A)

→11・2 Y「**原発防災域 拡大**—避難路は？ 焦る自治体—指針の改定 来年度以降、電力会社と安全協定加速」

→11・1 Aタ「**被災地 路線価、最大 8 割減**—調整率 公表—原発周辺、実質ゼロ—相続税 軽減へ配慮」 「税 軽減でも将来不安、被災地 路線価『担保価値は』—国 買取り望む声も—浦安、流状化 イメージ悪化」

→11・2 M「**原発検査、業者が原案**—基盤機構、丸写し常態化—『合格』ミス判明も」 「丸写し 揺らぐ安全、原発ズサン検査—米は抜き打ち当然—人材不足で形骸化、問題見抜く余裕なく」 『自前なら日が暮れる』—開き直る機構幹部」

→11・2 **各紙社説、論説**

A「**ベトナム支援**—原発輸出は考え直せ」／「南スーダン—PKO、慎重に 丁寧に」

M「**復興関連法案**—『特区』生かしきる体制を」／「南スーダンPKO—役割も期待も大きい」

Y「**南スーダン支援**—意義深い陸自PKOの国造り」／「**原発防災区域**—教訓を事故への備えに生かせ」

N「**汚染土の安全な処理**—国はもっと前に」／「**原発輸出**に『福島』の教訓を」

T「**玄海原発再開**—不信はまた深まった」／「**復興庁法案**—霞が関の焼け太り 困る」

H「**国会 TPP 論戦**—参加強行の根拠 成り立たない」

福島1・2号機「小規模臨界」(核分裂) 判明

11・2

被災状況

死者 1万5829人 (前日比同じ)

行方不明 3679人 (前日比7人減)

避難者(10・20現在) 7万1358人

●福島第1・2号機でキセノン検出(東電発表) —原子炉格納容器内で核分裂によって生じるキセノン133、キセノン135(11・3各紙朝刊)

●千葉県市原市、セメント会社で放射性物質検出—基準の15倍—「市原エコセメント」の排水から国の基準の約15倍の放射性物質検出→県は排水停止指示(11・3A)

→11・2 Aタ「小規模臨界の可能性—福島2号機、キセノン検出か」

／Mタ「福島第1原発—2号機にホウ酸水注入、核分裂の可能性」

／11・3 M「原子炉内 なお不安定—2号機『臨界』、『冷温停止に黄信号』

／N「原子炉安定 遠のく—福島2号機で核分裂、1・3号機も調査急ぐ」

→11・2 Aタ「がれき受け入れ地域 激減—環境省 全国調査、4月比1割に」

「がれき搬出、期待と配慮—宮古から東京へ、広域処理第1号—入念に総量測定『受け入れ広がれば』

／Mタ「震災がれき、『搬入可』54市町村のみ—広域処理、4月調査から激減」

／Yタ「被災地がれき—受け入れ 募る不安、現地での焼却限界」

→11・3 A「がれき 滞る搬出—『放射能不安』広がらぬ受け入れ先」

→11・3

各紙社説、論説

A「核分裂の疑い—炉内の混沌を忘れない」／「文化の日—多様な感受性のために」／司法・防災社説担当・野呂雅之「社説余滴—なぜ、11月5日が『津波の日』

M「ギリシャ国民投票—世界を悲劇に導くな」／「小規模臨界—監視と説明の強化を」

Y「電力不足対策—節電と原発再稼働が不可欠だ」／「小沢氏公判—『4億円』の説明から逃げるな」

N「経済成長へTPP交渉参加を決断せよ」／「これで冷温停止に進めるのか」

T「2号機『臨界』—情報開示 さらに徹底を」／「原発輸出—二重基準でいいのか」

H「文化の日—復興へ旺盛な文化の営みを」

11・3 被災状況

死者 1万5829人（前日比同じ）

行方不明 3679人（同上）

避難者（10・20現在） 7万1358人

●東電「臨界」の可能性を否定

→11・4 A「『臨界なし』手探り、福島2号機キセノン検出—炉内分からぬまま」

→11・4 T「九電 玄海 ドタバタ再稼働—地元『唐突』波紋広がる—燃料節約というが…やらせ問題棚上げ」 「既成事実つくりたい？ 批判の経産相 なぜ容認—周辺市に連絡なし、慎重意見を無視」

消費税 10%上げ—国際公約する野田首相

11・3 ギリシャ—国民投票を撤回（11・4A）

→11・4 A「ユーロ残留 争点化に反発—ギリシャ混迷、ユーロ瀬戸際—欧米中の景気減速、資金の流出 中国様子見」

→11・4 Aタ「イタリア国債 急落—ユーロ導入後、最安値」

／Nタ「ギリシャ首相進退で緊迫—国民投票 見送りの公算、政権枠組み焦点に」

11・3 野田首相、消費税率引上げを国際公約（仏カンヌ、G20首脳20カ国・地域）

—「2010年代半ばまでに段階的に消費税率を10%まで引上げる」、法案を「2011年度内に提出する」と表明（11・4Aタ）

→11・4 Y夕「首相、消費税上げ 国際公約—G20 で表明、法案成立前の解散
否定」

→11・4 各紙社説、論説

A「福島除染—中間貯蔵施設をどこへ」／「裁判員と死刑—情報公開し 広
く論議を」／社会部・北野隆一「記者有論—戦争体験、天皇陛下と水木の間
い」

M「ユネスコ問題—日本も仲介に努めよ」／「読書週間—大震災後に思う本の
力」

Y「タイ洪水被害—集中生産体制を見直す契機に」／「中間の宇宙開発—日本
も長期的な戦略が必要だ」

N「ギリシャ支援の確実な履行が不可欠だ」／「世界の企業揺らす 欧州危機」

T「ドイツ なぜ変わったか—原発から再生エネへ」

H「南スーダン派兵決定—PKO参加の原則に反する」